

## ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間とクローズド期間	信託期間は2013年10月21日から2023年11月10日までです。クローズド期間はありません。なお、受益者に有利であると認めるときは、受託者と協議のうえ、信託期間を延長することができます。	
運用方針	主として、世界の投資適格格付けの公社債を主な投資対象とするベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド受益証券に投資を行い、インカム・ゲインの確保と信託財産の成長を目指します。また、マザーファンド受益証券を通じて、為替変動リスクのヘッジ目的および円ベースでの投資収益の確保を目的として、外国為替の予約取引を機動的に行います。 マザーファンドの運用にあたっては、ベアリング・アセット・マネジメント・リミテッド(英国法人)に運用の管理及び執行に関する権限を委託しています。	
主要運用対象	BAMワールド・ボンド & カレンシー・ファンド (1年決算型)	ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	ベアリング ワールド・ボンド & カレンシー・マザーファンド	世界の投資適格格付けの公社債を主要投資対象とします。
組入制限	BAMワールド・ボンド & カレンシー・ファンド (1年決算型)	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使により取得した株券に限るものとし、その実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ベアリング ワールド・ボンド & カレンシー・マザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使により取得した株券に限るものとし、その投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎年1回決算(原則として11月10日。ただし、休業日の場合は翌営業日。)を行い、経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額の範囲とし、基準価額水準、市況動向等を勘案するとともに、信託財産の成長にも留意し、委託会社が分配金額を決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

# BARINGS

## 運用報告書 (全体版)

### BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド (1年決算型) 〈愛称〉ウィンドミル1年

追加型投信／海外／債券

(決算日 2022年11月10日)

第10期

## 運用報告書に関する弊社お問い合わせ先

ベアリングス・ジャパン株式会社 営業本部

電話番号：03-4565-1040

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

※お客様の口座内容などに関するご照会は、お申込みされた販売会社にお尋ねください。

## ベアリングス・ジャパン株式会社

東京都中央区京橋二丁目2番1号 京橋エドグラン7階

<https://www.barings.com/ja-jp/individual>

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド（1年決算型）」（愛称：ウィンドミル1年）は、2022年11月10日に第10期決算を行いました。ここに謹んで期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 目 次

BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド（1年決算型）〈愛称〉ウィンドミル1年の運用状況のご報告	
最近5期の運用実績	1
当期中の基準価額と市況等の推移	1
当期の運用経過	2
今後の運用方針	6
1万口当たりの費用明細	7
売買及び取引の状況	9
利害関係人との取引状況等	9
組入資産の明細	9
投資信託財産の構成	10
資産、負債、元本及び基準価額の状況	11
損益の状況	11
分配金のお知らせ	12
ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンドの運用状況のご報告	13

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 騰 落 中 率			
	円		円	%	%	%	百万円
6期(2018年11月12日)	10,012		0	△ 4.3	99.7	—	14,658
7期(2019年11月11日)	10,807		0	7.9	99.5	△24.8	14,935
8期(2020年11月10日)	10,954		0	1.4	97.2	△15.7	13,236
9期(2021年11月10日)	10,351		0	△ 5.5	99.1	△26.3	10,926
10期(2022年11月10日)	8,780		0	△15.2	98.4	△23.8	8,635

(注1) 基準価額および分配金は1万口当たり。(以下同じ)

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注3) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。(以下同じ)

(注4) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率(=買建比率-売建比率)は、親投資信託への投資割合に応じて算出した当ファンドベースの比率です。(以下同じ)

(注5) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

(注6) 純資産総額の単位未満は切捨て。

(注7) 計理処理上、組入比率が100%を超える場合があります。(以下同じ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

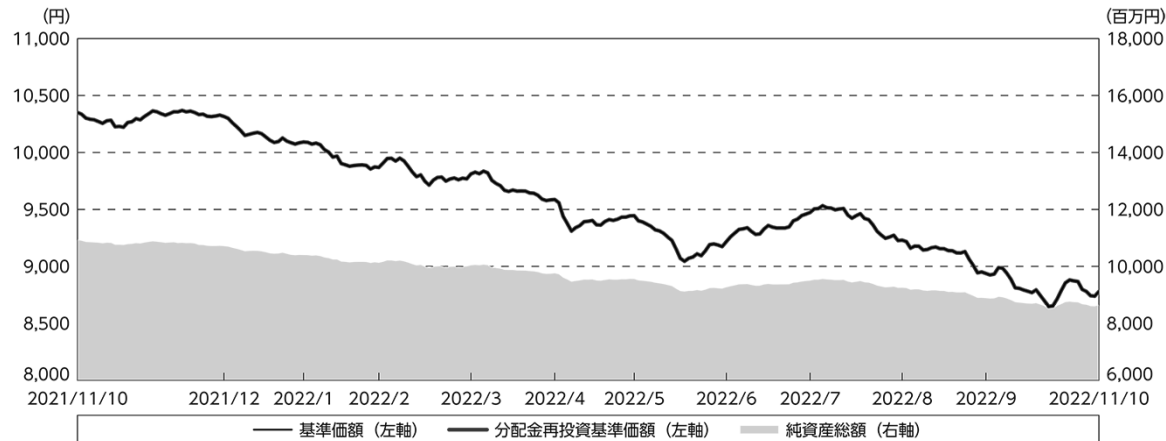
年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落	率		
(期 首)	円		%	%	%
2021年11月10日	10,351		—	99.1	△26.3
11月末	10,270		△ 0.8	97.8	△29.3
12月末	10,316		△ 0.3	98.9	△42.9
2022年1月末	10,092		△ 2.5	96.9	△48.2
2月末	9,869		△ 4.7	97.4	△42.2
3月末	9,812		△ 5.2	103.2	△44.1
4月末	9,587		△ 7.4	100.4	△46.6
5月末	9,445		△ 8.8	101.0	△38.3
6月末	9,217		△11.0	102.9	△40.6
7月末	9,473		△ 8.5	100.4	△40.6
8月末	9,230		△10.8	101.4	△32.1
9月末	8,938		△13.7	99.8	△29.9
10月末	8,881		△14.2	100.3	△23.8
(期 末)					
2022年11月10日	8,780		△15.2	98.4	△23.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○当期の運用経過

(2021年11月11日～2022年11月10日)

■ 期中の基準価額等の推移



期首：10,351円

期末：8,780円 (既払分配金：0円)

騰落率：△15.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2021年11月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 上記既払分配金は、期中の分配金(税込み)合計額です。

○基準価額の主な変動要因

主要投資対象である「ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド」における期中の基準価額は、13.7%の下落となりました。

上昇要因

■ 対円で上昇した米国ドル、カナダドルの買い持ちや、保有債券からの利息収入等が基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

■ 世界的に金利が上昇する中、米国やオーストラリアの債券価格が下落したことや、イタリアのドラギ首相の辞任により政局不安が生じたイタリア国債のスプレッド拡大等が基準価額の下落要因となりました。

## ■ 投資環境（2021年11月11日～2022年11月10日）

### ◎債券市場

当期前半は、原油価格の上昇や米国の雇用環境の改善を背景に米国を中心に利上げ観測が高まる中で、ロシアによるウクライナ侵攻により投資家のリスク回避姿勢が強まり、欧米の長期金利が低下する場面が見られたものの、物価上昇率の加速により、米連邦準備制度理事会（FRB）が大幅な利上げを行う意向を示したほか、欧州中央銀行（ECB）も利上げに前向きな姿勢を見せたことから、欧米の長期金利は大きく上昇しました。

当期後半は、欧米の企業景況感の悪化により欧米の長期金利が一時的に低下しましたが、米国では良好な雇用環境や粘着性の強いインフレ等を背景にFRBが大幅な利上げを継続し、欧州においてもエネルギー価格高騰を主因としたインフレ加速から、ECBが大幅な利上げを行ったことで、欧米の長期金利は大きく上昇しました。また英国では、大規模な減税政策が財政悪化やさらなる物価上昇を招くとの懸念から長期金利は急上昇する場面がありましたが、その後減税政策が完全に撤回されると上昇幅が縮小しました。

当期の債券市場の動きを10年国債利回りで見ると、米国では当期首の1.55%から当期末3.81%へ上昇、ドイツでは-0.25%から2.01%へ上昇しました。

### ◎為替市場

為替市場では、米国で大幅な利上げが継続する一方、日銀の金融緩和の継続を背景に日米金利差が拡大したことから、米国ドルは対円で大きく上昇しました。ユーロについては、ウクライナ情勢の緊迫化や域内の景気減速への懸念等から対米国ドルで下落する一方、対円では円が全面安となったため、上昇しました。当期の米国ドル・円相場は、当期首の112円台後半から当期末の146円台半ばへ米国ドル高・円安が進行しました。

## ■ 当ファンドのポートフォリオ（2021年11月11日～2022年11月10日）

<BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド（1年決算型）>

「ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド」を高位に組み入れました。

<ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド>

<デュレーション>

インフレ期待の抑制を優先し、景気減速を甘受する中央銀行の急劇な引き締め姿勢は長期金利の低下を早くと考えました。各国の物価、景気動向、金融政策、長短金利差縮小の余地を慎重に見極めつつ、デュレーション\*の調整を行いました。ポートフォリオ全体のデュレーションは、期末時点で約7.9年としました。また、国債先物の売りを実施し、金利変動リスクの機動的な調整を図りました。

<国別配分>

当初は、先進国では、ユーロ圏（周縁国）、オーストラリア、米国、カナダ、新興国では、メキシコ、チェコへの厚めの配分を行いました。期中においては、イタリア等から、カナダ、米国、フランス、オランダ等への入れ替えを実施しました。また、ユーロ圏の長期ゾーンやオーストラリアの短期ゾーンの配分減を実行する一方で、カナダの超長期ゾーンやオーストラリアの長期ゾーンの配分増を実行しました。物価上昇への対応として、米国、イタリア、フランス、メキシコの物価連動国債の組み入れを開始しました。またカナダやオーストラリアにおいて、利回り面での投資妙味が高い地方債の配分増を実施しました。新興国では、2022年7月に信用格付けが引き下げられたメキシコや期中の金利低下局面を捉えてチェコの配分を削減し、期末時点では、新興国への配分は抑制し、相対的に利回りの高いメキシコ中心の厳選配分としました。

<通貨別配分>

当期の円ウェイトは、円安が過度に進行したと判断し、期中では80%台から90%台に引き上げるなどの機動的な配分変更を行いつつ、期末時点では約92%程度としました。円以外の通貨では、英ポンドをほぼ中立から売り持ちに転換、ニュージーランドドル、カナダドルの買い持ち幅を縮小する一方、イスラエルシェケル、オーストラリアドルをほぼ中立から買い持ちに転換し、期末時点では米国ドル、ノルウェークローネ、イスラエルシェケル等を買持ち、英ポンド、ユーロ等を売り持ちとしました。新興国通貨では、チェココルナの買い持ち幅を縮小、ポーランドズロチを買持ちからほぼ中立に転換し、新興国通貨全体のエクスポージャーはネットではほぼ中立としました。

\* 「金利変動に対する債券価格の感応度」を示すもので、デュレーションが大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

## 【組入債券の種別構成】

期末（2022年11月10日現在）

No.	種 別	比率 (%)
1	国債証券	52.6
2	地方債証券	30.8
3	特殊債券	12.7
4	普通社債券	1.5

※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

## 【組入債券の上位5銘柄】

期末（2022年11月10日現在）

No.	銘柄名	クーポン(%)	償還日	国(地域)	比率(%)
1	オーストラリア・クイーンズランド州財務公社債	6.5	2033年3月14日	オーストラリア	4.4
2	ニュージーランド国債	2.75	2037年4月15日	ニュージーランド	4.1
3	オーストラリア国債	3.75	2037年4月21日	オーストラリア	3.2
4	イスラエル国債	5.5	2042年1月31日	イスラエル	3.1
5	ハイドロ・ケベック電力債	9.375	2030年4月15日	カナダ	3.0

※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

## 【組入債券の通貨別構成上位5通貨】

期末（2022年11月10日現在）

No.	通 貨	比率 (%)
1	米ドル	20.2
2	ユーロ	14.3
3	オーストラリアドル	20.0
4	カナダドル	18.5
5	ニュージーランドドル	11.1

※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

## ■ 分配金（2021年11月11日～2022年11月10日）

基準価額の水準および市況動向等を勘案して収益分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第10期
	2021年11月11日～ 2022年11月10日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,728

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。小数点以下第4位を四捨五入して表示しています。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

<BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド（1年決算型）>

引き続き、「ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド」を高位に組入れて運用を行います。

<ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド>

各国の中央銀行がインフレ抑制を優先させる中で、短期金利はインフレ鈍化が顕現化するまで上昇する一方、長期金利は先行きの景気悪化を織り込む形で低下圧力に晒されると想定します。また、過度な利上げによって景気後退やインフレ鈍化が鮮明となる国では、市場の利下げ織り込みが開始されると予想します。このため各国の物価・景気動向、および金融・財政政策の違いを見極めた上での国別配分、満期構成を実行するとともに、地方債等の非国債への分散投資を施し、収益獲得を目指す方針です。

国別では、各国の長短金利差や金融政策等を睨んだ満期構成戦略を実施し、ドイツ、米国、カナダ等では債券先物を使用し、金利リスクの最適配分を目指します。

通貨配分については、ポートフォリオの対円での為替ヘッジ比率は、75%～100%でコントロールする方針とし、円高が予想される局面ではヘッジ比率を引き上げ、円安が予想される局面ではヘッジ比率の引き下げを検討します。円以外の通貨の主要なポジションとしては、インフレ抑制に向けて積極的な利上げが見込まれる米国ドルや欧州向けの原油や天然ガスの輸出拡大の恩恵を受けやすいノルウェークローネやイスラエルシェケル等の買い持ちポジションを維持し、金利戦略とのバランスを図る方針とします。



○1万口当たりの費用明細

(2021年11月11日～2022年11月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 153	% 1.595	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 74 )	( 0.770 )	投信会社分は、ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 74 )	( 0.770 )	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 5 )	( 0.055 )	受託会社分は、運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.009	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 先 物 ・ オ プ シ ョ ン ）	( 1 )	( 0.009 )	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	6	0.060	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 5 )	( 0.050 )	保管費用は、資産を海外で保管する場合の費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1 )	( 0.006 )	監査費用は、ファンドの監査にかかる費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	( 0.004 )	信託事務の処理に要する諸費用
合 計	160	1.664	
期中の平均基準価額は、9,594円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。なお、(b) 売買委託手数料および(c) その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 信託報酬および監査費用にかかる消費税は期末の税率を採用しています。

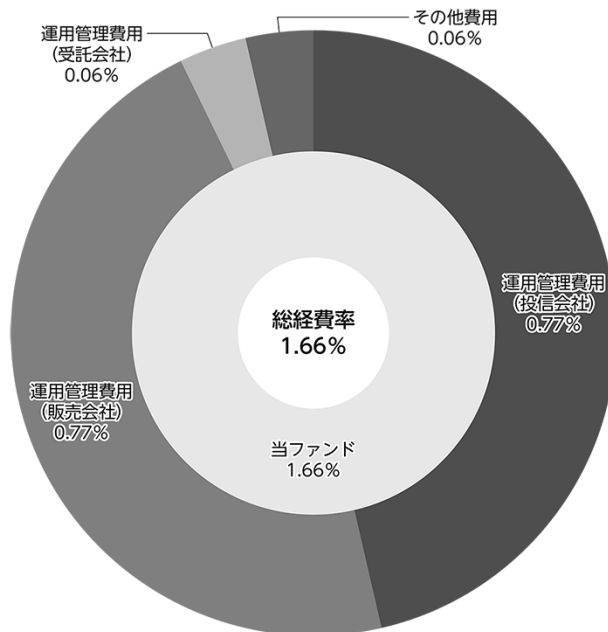
(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.66%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年11月11日～2022年11月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド	千口 598,107	千円 661,757	千口 1,376,729	千円 1,530,306

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年11月11日～2022年11月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年11月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド	千口 9,304,712	千口 8,526,090	千円 8,710,254

(注) 単位未満は切捨て。

ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンドの運用報告書をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2022年11月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド	8,710,254	99.9
コール・ローン等、その他	8,467	0.1
投資信託財産総額	8,718,721	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（28,918,915千円）の投資信託財産総額（29,546,764千円）に対する比率は97.9%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=146.41円、1カナダドル=108.20円、1メキシコペソ=7.4869円、1ユーロ=146.66円、1英ポンド=166.47円、1スウェーデンクローナ=13.47円、1ノルウェークローネ=14.10円、1チェココルナ=6.0307円、1ポーランドズロチ=31.1102円、1オーストラリアドル=94.13円、1ニュージーランドドル=86.18円、1シンガポールドル=104.46円、1イスラエルシェケル=41.1882円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年11月10日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	8,718,721,251
ペアリングワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド(評価額)	8,710,254,457
未収入金	8,466,794
(B) 負債	82,785,969
未払解約金	8,466,794
未払信託報酬	74,004,889
その他未払費用	314,286
(C) 純資産総額(A-B)	8,635,935,282
元本	9,836,448,775
次期繰越損益金	△1,200,513,493
(D) 受益権総口数	9,836,448,775口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,780円

- (注1) 期首元本額 10,556,384,361円  
 期中追加設定元本額 689,936,368円  
 期中一部解約元本額 1,409,871,954円  
 (注2) 元本の欠損金額 1,200,513,493円

## ○損益の状況（2021年11月11日～2022年11月10日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△1,338,980,860
売買益	77,732,937
売買損	△1,416,713,797
(B) 信託報酬等	△ 156,331,370
(C) 当期損益金(A+B)	△1,495,312,230
(D) 前期繰越損益金	△ 311,230,341
(E) 追加信託差損益金	606,029,078
(配当等相当額)	( 1,210,768,595)
(売買損益相当額)	(△ 604,739,517)
(F) 計(C+D+E)	△1,200,513,493
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△1,200,513,493
追加信託差損益金	606,029,078
(配当等相当額)	( 1,211,838,945)
(売買損益相当額)	(△ 605,809,867)
分配準備積立金	1,471,737,842
繰越損益金	△3,278,280,413

- (注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注4) 分配金の計算過程 (単位:円)

	当 期
(a) 配当等収益(費用控除後)	172,681,496
(b) 有価証券売買等損益(費用控除後)	0
(c) 収益調整金	1,211,838,945
(d) 分配準備積立金	1,299,056,346
分配可能額(a+b+c+d)	2,683,576,787
(1万口当たり)	2,728
収益分配金額	0
(1万口当たり)	0

## ○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

### 収益分配金の支払いについて

- ・収益分配金は、取扱販売会社において決算日から起算して5営業日までに支払いを開始いたします。

### 収益分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金は、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」の区分があり、分配後の基準価額が個々の受益者の個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個々の受益者の個別元本を下回る場合は、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

### 普通分配金ならびに換金時（解約）および償還時の差益（譲渡益）に対する税率について

2013年1月1日から2037年12月31日までの間、所得税の額に対し2.1%の金額が復興特別所得税として徴収されます。

#### 個人の受益者

2014年1月1日から2037年12月31日までについては20.315%（所得税、復興特別所得税および地方税）となります。

※個人の受益者が有する当該受益権のうち、NISA（ニーサ、少額投資非課税制度）、ジュニアNISA（ジュニアニーサ、未成年者少額投資非課税制度）の適用を受けているものについては非課税となります。

#### 法人の受益者

2014年1月1日から2037年12月31日までについては15.315%（所得税および復興特別所得税（地方税は課せられません））となります。

※税法が改正された場合等には上記内容が変更になる場合があります。

※課税上の取扱いの詳細については、販売会社・税務署等にお問い合わせください。

運用報告書

ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド

第10期（決算日 2022年11月10日）

「ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド」は、2022年11月10日に第10期の決算を行いました。

ここに当マザーファンドの第10期の運用状況をご報告申し上げます。

ベアリングス・ジャパン株式会社

東京都中央区京橋二丁目2番1号 京橋エドグラン7階  
<https://www.barings.com/jp/individual>

★当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は2013年10月15日から無期限です。
運用方針	インカム・ゲインの確保とともに信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	世界の投資適格格付けの公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は転換社債の転換および新株予約権の行使より取得した株券に限るものとし、その投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 額	騰落率		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		期	騰					
	円				%		%	百万円
6期(2018年11月12日)	10,921		△	2.8		98.9	—	74,163
7期(2019年11月11日)	11,972			9.6		98.7	△24.6	66,431
8期(2020年11月10日)	12,330			3.0		96.4	△15.6	54,892
9期(2021年11月10日)	11,842		△	4.0		98.3	△26.1	41,451
10期(2022年11月10日)	10,216		△	13.7		97.6	△23.6	28,928

(注1) 基準価額は1万円当たり。(以下同じ)

(注2) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。(以下同じ)

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。(以下同じ)

(注4) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

(注5) 純資産総額の単位未満は切捨て。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		債 組	入 比	券 率	債 先	物 比	券 率
				騰	落						
	(期 首)		円		%			%			%
	2021年11月10日		11,842		—			98.3			△26.1
	11月末		11,760		△ 0.7			97.7			△29.3
	12月末		11,828		△ 0.1			98.7			△42.8
	2022年1月末		11,588		△ 2.1			96.5			△48.0
	2月末		11,347		△ 4.2			96.9			△42.0
	3月末		11,297		△ 4.6			102.6			△43.8
	4月末		11,054		△ 6.7			99.6			△46.3
	5月末		10,908		△ 7.9			100.9			△38.3
	6月末		10,659		△10.0			102.7			△40.5
	7月末		10,968		△ 7.4			100.1			△40.5
	8月末		10,704		△ 9.6			100.9			△31.9
	9月末		10,380		△12.3			99.2			△29.7
	10月末		10,329		△12.8			99.5			△23.6
	(期 末)										
	2022年11月10日		10,216		△13.7			97.6			△23.6

(注) 騰落率は期首比です。



## ■ 当期の運用経過（2021年11月11日～2022年11月10日）

### ○基準価額の主な変動要因

期中の基準価額は、13.7%の下落となりました。

#### 上昇要因

■ 対円で上昇した米国ドル、カナダドルの買い持ちや、保有債券からの利息収入等が基準価額の上昇要因となりました。

#### 下落要因

■ 世界的に金利が上昇する中、米国やオーストラリアの債券価格が下落したことや、イタリアのドラギ首相の辞任により政局不安が生じたイタリア国債のスプレッド拡大等が基準価額の下落要因となりました。



## ■ 投資環境（2021年11月11日～2022年11月10日）

### ◎債券市場

当期前半は、原油価格の上昇や米国の雇用環境の改善を背景に米国を中心に利上げ観測が高まる中で、ロシアによるウクライナ侵攻により投資家のリスク回避姿勢が強まり、欧米の長期金利が低下する場面が見られたものの、物価上昇率の加速により、米連邦準備制度理事会（FRB）が大幅な利上げを行う意向を示したほか、欧州中央銀行（ECB）も利上げに前向きな姿勢を見せたことから、欧米の長期金利は大きく上昇しました。

当期後半は、欧米の企業景況感の悪化により欧米の長期金利が一時的に低下しましたが、米国では良好な雇用環境や粘着性の強いインフレ等を背景にFRBが大幅な利上げを継続し、欧州においてもエネルギー価格高騰を主因としたインフレ加速から、ECBが大幅な利上げを行ったことで、欧米の長期金利は大きく上昇しました。また英国では、大規模な減税政策が財政悪化やさらなる物価上昇を招くとの懸念から長期金利は急上昇する場面がありましたが、その後減税政策が完全に撤回されると上昇幅が縮小しました。

当期の債券市場の動きを10年国債利回りで見ると、米国では当期首の1.55%から当期末3.81%へ上昇、ドイツでは-0.25%から2.01%へ上昇しました。

### ◎為替市場

為替市場では、米国で大幅な利上げが継続する一方、日銀の金融緩和の継続を背景に日米金利差が拡大したことから、米国ドルは対円で大きく上昇しました。ユーロについては、ウクライナ情勢の緊迫化や域内の景気減速への懸念等から対米国ドルで下落する一方、対円では円が全面安となったため、上昇しました。当期の米国ドル・円相場は、当期首の112円台後半から当期末の146円台半ばへ米国ドル高・円安が進行しました。

## ■ 当ファンドのポートフォリオ（2021年11月11日～2022年11月10日）

### <デュレーション>

インフレ期待の抑制を優先し、景気減速を甘受する中央銀行の急劇な引き締め姿勢は長期金利の低下を早くと考えました。各国の物価、景気動向、金融政策、長短金利差縮小の余地を慎重に見極めつつ、デュレーション\*の調整を行いました。ポートフォリオ全体のデュレーションは、期末時点で約7.9年としました。また、国債先物の売りを実施し、金利変動リスクの機動的な調整を図りました。

### <国別配分>

当初は、先進国では、ユーロ圏（周縁国）、オーストラリア、米国、カナダ、新興国では、メキシコ、チェコへの厚めの配分を行いました。期中においては、イタリア等から、カナダ、米国、フランス、オランダ等への入れ替えを実施しました。また、ユーロ圏の長期ゾーンやオーストラリアの短期ゾーンの配分減を実行する一方で、カナダの超長期ゾーンやオーストラリアの長期ゾーンの配分増を実行しました。物価上昇への対応として、米国、イタリア、フランス、メキシコの物価連動国債の組入れを開始しました。またカナダやオーストラリアにおいて、利回り面での投資妙味が高い地方債の配分増を実施しました。新興国では、2022年7月に信用格付けが引き下げられたメキシコや期中の金利低下局面を捉えてチェコの配分を削減し、期末時点では、新興国への配分は抑制し、相対的に利回りの高いメキシコ中心の厳選配分としました。

### <通貨別配分>

当期の円ウェイトは、円安が過度に進行したと判断し、期中では80%台から90%台に引き上げるなどの機動的な配分変更を行いつつ、期末時点では約92%程度としました。円以外の通貨では、英ポンドをほぼ中立から売り持ちに転換、ニュージーランドドル、カナダドルの買い持ち幅を縮小する一方、イスラエルシェケル、オーストラリアドルをほぼ中立から買い持ちに転換し、期末時点では米国ドル、ノルウェークローネ、イスラエルシェケル等を買持ち、英ポンド、ユーロ等を売り持ちとしました。新興国通貨では、チェココルナの買い持ち幅を縮小、ポーランドズロチを買持ちからほぼ中立に転換し、新興国通貨全体のエクスポージャーはネットではほぼ中立としました。

\* 「金利変動に対する債券価格の感応度」を示すもので、デュレーションが大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

## 【組入債券の種別構成】

期末 (2022年11月10日現在)

No.	種 別	比率 (%)
1	国債証券	52.6
2	地方債証券	30.8
3	特殊債券	12.7
4	普通社債券	1.5

※比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## 【組入債券の通貨別構成上位5通貨】

期末 (2022年11月10日現在)

No.	通 貨	比率 (%)
1	米ドル	20.2
2	ユーロ	14.3
3	オーストラリアドル	20.0
4	カナダドル	18.5
5	ニュージーランドドル	11.1

※比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## 【組入債券の上位5銘柄】

期末 (2022年11月10日現在)

No.	銘柄名	クーポン(%)	償還日	国(地域)	比率(%)
1	オーストラリア・クイーンズランド州財務公社債	6.5	2033年3月14日	オーストラリア	4.4
2	ニュージーランド国債	2.75	2037年4月15日	ニュージーランド	4.1
3	オーストラリア国債	3.75	2037年4月21日	オーストラリア	3.2
4	イスラエル国債	5.5	2042年1月31日	イスラエル	3.1
5	ハイδρο・ケベック電力債	9.375	2030年4月15日	カナダ	3.0

※比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## 今後の運用方針

各国の中央銀行がインフレ抑制を優先させる中で、短期金利はインフレ鈍化が顕現化するまで上昇する一方、長期金利は先行きの景気悪化を織り込む形で低下圧力に晒されると想定します。また、過度な利上げによって景気後退やインフレ鈍化が鮮明となる国では、市場の利下げ織り込みが開始されると予想します。このため各国の物価・景気動向、および金融・財政政策の違いを見極めた上での国別配分、満期構成を実行するとともに、地方債等の非国債への分散投資を施し、収益獲得を目指す方針です。

国別では、各国の長短金利差や金融政策等を睨んだ満期構成戦略を実施し、ドイツ、米国、カナダ等では債券先物を使用し、金利リスクの最適配分を目指します。

通貨配分については、ポートフォリオの対円での為替ヘッジ比率は、75%~100%でコントロールする方針とし、円高が予想される局面ではヘッジ比率を引き上げ、円安が予想される局面ではヘッジ比率の引き下げを検討します。円以外の通貨の主要なポジションとしては、インフレ抑制に向けて積極的な利上げが見込まれる米国ドルや欧州向けの原油や天然ガスの輸出拡大の恩恵を受けやすいノルウェークローネやイスラエルシェケル等の買い持ちポジションを維持し、金利戦略とのバランスを図る方針とします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年11月11日～2022年11月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	円 1 (1)	% 0.009 (0.009)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	6 (5) (0)	0.053 (0.049) (0.004)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、資産を海外で保管する場合の費用 信託事務の処理に要する諸費用
合 計	7	0.062	
期中の平均基準価額は、11,068円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2021年11月11日～2022年11月10日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外                       国	アメリカ	国債証券	千米ドル 77,749	千米ドル 80,897
		地方債証券	—	1,365
		特殊債証券	2,432	—
	カナダ	国債証券	千カナダドル 11,657	千カナダドル 12,628
		地方債証券	29,741	31,102
	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 42,473	千メキシコペソ 364,316 ( 7,900)
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	イタリ	国債証券	31,758	70,913
		フランス	29,238	19,839
		オランダ	12,706	6,762
		スペイン	16,224	15,205
		ベルギー	305	—
		アイルランド	1,019	974
	イギリス	国債証券	千英ポンド 18,133	千英ポンド 17,643
		特殊債証券	3,999	2,441
		社債証券 (投資法人債券を含む)	—	2,898
		ノルウェー	千ノルウェークローネ 56,300	千ノルウェークローネ 41,758
	チェコ	千チェココルナ 308,581	千チェココルナ 446,982	
	ポーランド	千ポーランドズロチ —	千ポーランドズロチ 9,423	
	オーストラ	国債証券	千オーストラリアドル 38,357	千オーストラリアドル 41,163
地方債証券		28,364	37,738	
特殊債証券		—	4,263	
ニュージーラ	国債証券	千ニュージーランドドル 15,875	千ニュージーランドドル 13,739	
	地方債証券	4,262	10,569	
	特殊債証券	—	736	
シンガポール	千シンガポールドル —	千シンガポールドル 3,416		
イスラエル	千イスラエルシェケル 14,191	千イスラエルシェケル 30,480		

- (注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)  
(注2) 単位未満は切捨て。  
(注3) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。  
(注4) 社債証券 (投資法人債券を含む) には新株予約権付社債 (転換社債) は含まれておりません。  
(注5) 特殊債証券は「当期の運用経過」において国際機関債等として記載することがあります。(以下同じ)

先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国	債券先物取引	百万円 —	百万円 —	百万円 74,049	百万円 78,645

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2021年11月11日～2022年11月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年11月10日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	43,530	39,932	5,846,500	20.2	—	18.2	0.8	1.2
カナダ	千カナダドル 48,860	千カナダドル 49,434	5,348,817	18.5	—	18.3	0.2	—
メキシコ	千メキシコペソ 50,800	千メキシコペソ 82,788	619,828	2.1	—	1.1	0.9	0.2
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
イタリヤ	4,680	5,482	804,113	2.8	—	0.7	—	2.1
フランス	7,035	8,199	1,202,603	4.2	—	2.2	—	2.0
オランダ	5,310	4,029	590,917	2.0	—	2.0	—	—
スペイン	8,460	6,780	994,463	3.4	—	3.4	—	—
ベルギー	2,200	2,658	389,957	1.3	—	1.3	—	—
インドネシア	1,000	995	146,057	0.5	—	—	—	0.5
イギリス	千英ポンド 3,260	千英ポンド 3,351	557,913	1.9	—	1.9	—	—
スウェーデン	千スウェーデンクローナ 35,000	千スウェーデンクローナ 41,849	563,712	1.9	—	1.9	—	—
ノルウェー	千ノルウェークローネ 51,000	千ノルウェークローネ 43,395	611,877	2.1	—	2.1	—	—
チェコ	千チェココルナ 55,000	千チェココルナ 34,972	210,909	0.7	—	0.7	—	—
ポーランド	千ポーランドズロチ 11,000	千ポーランドズロチ 6,723	209,160	0.7	—	0.7	—	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 67,270	千オーストラリアドル 61,422	5,781,686	20.0	—	19.2	0.8	—
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 46,250	千ニュージーランドドル 37,352	3,219,077	11.1	—	8.7	1.1	1.3
シンガポール	千シンガポールドル 1,740	千シンガポールドル 1,665	174,017	0.6	—	0.6	—	—
イスラエル	千イスラエルシェケル 18,700	千イスラエルシェケル 23,256	957,909	3.3	—	3.2	—	0.1
合 計	—	—	28,229,523	97.6	—	86.5	3.8	7.3

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切捨て。

(注4) ー印は組入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄		当期末					償還年月日
		利率	額面金額	評価額		債	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
国債証券	CHILE 3.1% 07MAY41	3.1	1,000	669	98,065	2041/5/7	
	INDONESIA 5.950% 08JAN46	5.95	800	775	113,594	2046/1/8	
	ITALY 6.875% 27SEP23	6.875	800	808	118,361	2023/9/27	
	PHILIPPINES 6.375 %23OCT34	6.375	1,500	1,539	225,346	2034/10/23	
	PORTUGAL 5.125% 15OCT24	5.125	1,000	990	145,063	2024/10/15	
	US TRSY 0.125% 15JUL23	0.125	250	242	35,490	2023/7/15	
	US TRSY 1.125% 15MAY40	1.125	7,200	4,241	621,043	2040/5/15	
	US TRSY 1.375% 15AUG50	1.375	850	441	64,674	2050/8/15	
	US TRSY 1.50% 15AUG26	1.5	1,000	898	131,517	2026/8/15	
	US TRSY 1.75% 31JAN29	1.75	600	517	75,705	2029/1/31	
	US TRSY 1.875% 15FEB41	1.875	5,400	3,608	528,290	2041/2/15	
	US TRSY 2.125% 15MAY25	2.125	650	612	89,649	2025/5/15	
	US TRSY 2.75% 15AUG32	2.75	520	461	67,621	2032/8/15	
	US TRSY 3.0% 15AUG52	3.0	650	507	74,237	2052/8/15	
	US TRSY 3.25% 30JUN29	3.25	150	141	20,675	2029/6/30	
	US TRSY 4.50% 15FEB36	4.5	850	877	128,522	2036/2/15	
	US TRSY IL 0.625% 15JUL32	0.625	4,260	3,929	575,386	2032/7/15	
	特殊債券 (除く金融債)	EIB 4.875% 15FEB36	4.875	4,000	4,157	608,655	2036/2/15
		HYDROQUEBEC 9.5% 15NOV30	9.5	4,000	5,188	759,674	2030/11/15
		HYDROQUEBEC 9.375% 15APR30	9.375	4,700	5,953	871,669	2030/4/15
KFW 0.25% 08MAR24		0.25	350	329	48,271	2024/3/8	
普通社債券 (含む投資法人債券)	MICROSOFT INC 5.3% 08FEB41	5.3	3,000	3,039	444,983	2041/2/8	
小計					5,846,500		
カナダ			千カナダドル	千カナダドル			
地方債証券	BR COLUMBIA 2.2% 18JUN30	2.2	1,280	1,122	121,413	2030/6/18	
	BR COLUMBIA 3.2% 18JUN32	3.2	1,050	960	103,974	2032/6/18	
	BR COLUMBIA 4.7% 18JUN37	4.7	5,000	5,087	550,483	2037/6/18	
	MONTREAL 6.00% 01JUN43	6.0	1,000	1,136	122,934	2043/6/1	
	NEW BRUNSW 4.8% 26SEP39	4.8	4,000	4,050	438,240	2039/9/26	
	ONTARIO 3.45% 02JUN45	3.45	3,400	2,844	307,801	2045/6/2	
	ONTARIO 4.65% 02JUN41	4.65	2,900	2,906	314,511	2041/6/2	
	ONTARIO 4.70% 02JUN37	4.7	4,700	4,767	515,857	2037/6/2	
	ONTARIO 5.60% 02JUN35	5.6	3,000	3,329	360,270	2035/6/2	
	ONTARIO 5.85% 08MAR33	5.85	2,970	3,342	361,677	2033/3/8	
	OTTAWA 4.60% 14JUL42	4.6	3,000	2,896	313,433	2042/7/14	
	QUEBEC 2.75% 01SEP25	2.75	610	586	63,449	2025/9/1	
	QUEBEC 5.00% 01DEC38	5.0	800	838	90,711	2038/12/1	
	QUEBEC 5.75% 01DEC36	5.75	5,650	6,372	689,494	2036/12/1	
	SASKATCHWN 2.75% 02DEC46	2.75	1,000	727	78,664	2046/12/2	
	TORONTO 4.70% 10JUN41	4.7	3,000	2,916	315,537	2041/6/10	



銘	柄	当 期 末					
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
カナダ		%	千カナダドル	千カナダドル	千円		
	特殊債券 (除く金融債)	RES FRANCE 4.70% 01JUN35	4.7	5,500	5,548	600,360	2035/6/1
小 計						5,348,817	
メキシコ			千メキシコペソ	千メキシコペソ			
	国債証券	MEXICO 10.0% 05DEC24	10.0	7,500	7,514	56,261	2024/12/5
		MEXICO 5.0% 06MAR25	5.0	6,800	6,080	45,524	2025/3/6
		MEXICO 6.75% 09MAR23	6.75	6,000	5,939	44,467	2023/3/9
		MEXICO 7.75% 29MAY31	7.75	10,000	8,927	66,841	2031/5/29
		MEXICO 8.50% 18NOV38	8.5	15,000	13,462	100,793	2038/11/18
		MEXICO UDIIL 4.5% 4DEC25	4.5	3,000	22,428	167,917	2025/12/4
		MEXICO UDIIL 4.5% 22NOV35	4.5	2,500	18,435	138,022	2035/11/22
小 計						619,828	
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ			
イタリア	国債証券	ITALY 3.5% 01MAR30	3.5	1,400	1,371	201,114	2030/3/1
		ITALY IL 2.35% 15SEP24	2.35	3,280	4,111	602,998	2024/9/15
フランス	国債証券	FRANCE 4% 25OCT38	4.0	3,875	4,320	633,606	2038/10/25
		FRANCE IL 0.25% 25JUL24	0.25	3,160	3,879	568,997	2024/7/25
オランダ	国債証券	NETHER 0.5% 15JAN40	0.5	4,450	3,198	469,050	2040/1/15
		NETHER 0.5% 15JUL32	0.5	300	246	36,082	2032/7/15
		NETHER 2.75% 15JAN47	2.75	560	584	85,784	2047/1/15
スペイン	国債証券	SPAIN 0.85% 30JUL37	0.85	5,100	3,514	515,423	2037/7/30
		SPAIN 2.70% 31OCT48	2.7	2,360	2,017	295,861	2048/10/31
		SPAIN 5.15% 31OCT44	5.15	1,000	1,249	183,178	2044/10/31
ベルギー	国債証券	BELGIUM 5.00% 28MAR35	5.0	2,200	2,658	389,957	2035/3/28
インドネシア	国債証券	INDONESIA 2.625% 14JUN23	2.625	1,000	995	146,057	2023/6/14
小 計						4,128,112	
イギリス			千英ポンド	千英ポンド			
	国債証券	UK TRSY 3.25% 22JAN44	3.25	510	473	78,833	2044/1/22
	特殊債券 (除く金融債)	NETWORK RAIL 4.75% 29NOV35	4.75	2,750	2,877	479,079	2035/11/29
小 計						557,913	
スウェーデン			千スウェーデンクローナ	千スウェーデンクローナ			
	国債証券	SWEDEN 3.50% 30MAR39	3.5	35,000	41,849	563,712	2039/3/30
小 計						563,712	
ノルウェー			千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ			
	国債証券	NORWAY 1.25% 17SEP31	1.25	32,600	26,927	379,679	2031/9/17
		NORWAY 2.125% 18MAY32	2.125	18,400	16,468	232,198	2032/5/18
小 計						611,877	
チェコ			千チェココルナ	千チェココルナ			
	国債証券	CZECH 0.95% 15MAY30	0.95	30,000	21,607	130,309	2030/5/15
		CZECH 1.5% 24APR40	1.5	25,000	13,365	80,600	2040/4/24
小 計						210,909	

銘	柄	当 期 末					
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
ポーランド		%	千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ	千円		
	国債証券	POLAND 1.75% 25APR32	1.75	11,000	6,723	209,160	2032/4/25
小	計					209,160	
オーストラリア			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル			
	国債証券	AUSTRALIA 1.25% 21MAY32	1.25	6,330	5,028	473,315	2032/5/21
		AUSTRALIA 2.75% 21MAY41	2.75	800	644	60,689	2041/5/21
		AUSTRALIA 3.25% 21JUN39	3.25	1,750	1,550	145,913	2039/6/21
		AUSTRALIA 3.75% 21APR37	3.75	10,240	9,833	925,638	2037/4/21
		AUSTRALIA 4.5% 21APR33	4.5	5,940	6,262	589,477	2033/4/21
	地方債証券	NEW S WLS 1.25% 20MAR25	1.25	800	754	71,060	2025/3/20
		NEW S WLS 1.25% 20NOV30	1.25	4,320	3,403	320,350	2030/11/20
		NEW S WLS 1.50% 20FEB32	1.5	11,200	8,600	809,554	2032/2/20
		NEW S WLS 2.0% 08MAR33	2.0	4,000	3,127	294,407	2033/3/8
		NEW S WLS 2.25% 7MAY41	2.25	3,000	1,973	185,805	2041/5/7
		QUEENSLAND 3.25% 21AUG29	3.25	4,140	3,899	367,027	2029/8/21
		QUEENSLAND 6.50% 14MAR33	6.5	11,600	13,424	1,263,665	2033/3/14
		VICTORIA 1.25% 19NOV27	1.25	1,500	1,305	122,910	2027/11/19
		VICTORIA 5.5% 17DEC24	5.5	300	310	29,238	2024/12/17
		WEST AUST 3.00% 21OCT26	3.0	1,350	1,302	122,632	2026/10/21
小	計					5,781,686	
ニュージーランド			千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル			
	国債証券	NEW ZEALAND 2.0% 15MAY32	2.0	2,000	1,609	138,695	2032/5/15
		NEW ZEALAND 3.5% 14APR33	3.5	6,550	5,971	514,593	2033/4/14
		NEW ZEALAND 1.75% 15MAY41	1.75	9,710	6,013	518,207	2041/5/15
		NEW ZEALAND 2.75% 15APR37	2.75	17,400	13,747	1,184,793	2037/4/15
	地方債証券	NZ LGFA 2.25% 15APR24	2.25	1,000	956	82,442	2024/4/15
		NZ LGFA 2.25% 15MAY31	2.25	600	472	40,745	2031/5/15
		NZ LGFA 2.75% 15APR25	2.75	1,600	1,504	129,641	2025/4/15
		NZ LGFA 3.5% 14APR33	3.5	1,500	1,269	109,440	2033/4/14
		NZ LGFA 4.50% 15APR27	4.5	2,430	2,351	202,632	2027/4/15
	特殊債券 (除く金融債)	RENTENBK 5.375% 23APR24	5.375	3,460	3,456	297,884	2024/4/23
小	計					3,219,077	
シンガポール			千シンガポールドル	千シンガポールドル			
	国債証券	SINGAPORE 2.875% 01SEP30	2.875	1,740	1,665	174,017	2030/9/1
小	計					174,017	
イスラエル			千イスラエルシェケル	千イスラエルシェケル			
	国債証券	ISRAEL 1.5% 31MAY37	1.5	1,000	779	32,096	2037/5/31
		ISRAEL 3.75% 31MAR24	3.75	500	503	20,723	2024/3/31
		ISRAEL 5.5% 31JAN42	5.5	17,200	21,974	905,089	2042/1/31
小	計					957,909	
合	計					28,229,523	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別			当 期 末	
			買 建 額	売 建 額
			百万円	百万円
外 国	債券先物取引	CAN 10YR BON	—	657
		EURO-SCHATZ	—	391
		US 5YR NOTE	—	77
		LONG GILT	—	515
		EURO-BTP	—	253
		EURO-BOBL	—	1,312
		EURO-BUND	—	1,013
		US 2YR NOTE	—	1,492
		EURO BUXL 30	—	214
		US 10YR ULTR	—	84
		US ULTRA BON	—	92
		AUST 10Y BON	—	110
		CAN 5YR BON	—	600

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注3) ー印は組入れなし。

○投資信託財産の構成

(2022年11月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	28,229,523	95.5
コール・ローン等、その他	1,317,241	4.5
投資信託財産総額	29,546,764	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (28,918,915千円) の投資信託財産総額 (29,546,764千円) に対する比率は97.9%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=146.41円、1カナダドル=108.20円、1メキシコペソ=7.4869円、1ユーロ=146.66円、1英ポンド=166.47円、1スウェーデンクローナ=13.47円、1ノルウェークローネ=14.10円、1チェココルナ=6.0307円、1ポーランドズロチ=31.1102円、1オーストラリアドル=94.13円、1ニュージーランドドル=86.18円、1シンガポールドル=104.46円、1イスラエルシェケル=41.1882円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年11月10日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	78,998,067,908	
コール・ローン等	706,632,632	
公社債(評価額)	28,229,523,292	
未収入金	49,797,875,304	
未収利息	293,412,392	
前払費用	26,782,546	
差入委託証拠金	△ 56,158,258	
(B) 負債	50,069,664,734	
未払金	50,049,031,746	
未払解約金	20,631,652	
未払利息	1,336	
(C) 純資産総額(A-B)	28,928,403,174	
元本	28,317,163,880	
次期繰越損益金	611,239,294	
(D) 受益権総口数	28,317,163,880口	
1万口当たり基準価額(C/D)	10,216円	

(注1) 期首元本額	35,003,555,179円
期中追加設定元本額	815,199,324円
期中一部解約元本額	7,501,590,623円
(注2) 期末における元本の内訳	
BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド(毎月決算型)	19,791,072,986円
BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド(1年決算型)	8,526,090,894円

## ○損益の状況 (2021年11月11日～2022年11月10日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	1,299,524,821	
受取利息	1,299,421,549	
その他収益金	659,343	
支払利息	△ 556,071	
(B) 有価証券売買損益	△ 8,205,998,800	
売買益	9,174,391,845	
売買損	△17,380,390,645	
(C) 先物取引等取引損益	1,877,953,187	
取引益	2,110,540,625	
取引損	△ 232,587,438	
(D) 保管費用等	△ 18,336,364	
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 5,046,857,156	
(F) 前期繰越損益金	6,447,949,043	
(G) 追加信託差損益金	88,003,737	
(H) 解約差損益金	△ 877,856,330	
(I) 計(E+F+G+H)	611,239,294	
次期繰越損益金(I)	611,239,294	

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注3) 損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。